

産業廃棄物処理計画書

年 月 日

船橋市長 殿



提出者

住所 千葉県船橋市夏見5-23-13

氏名 株式会社 斉藤総業

代表取締役 斉藤 一昭

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

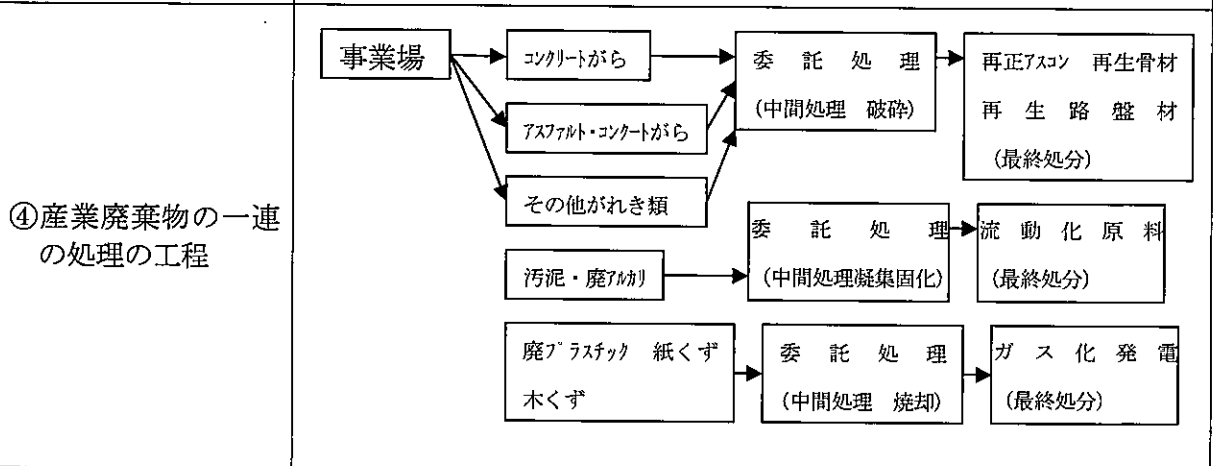
電話番号 047-423-4396

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 斉藤総業
事業場の所在地	船橋市市内 管轄区域内
計画期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：土木工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高 5億
③従業員数	10人(正社員 10人)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre> graph TD A[処理計画総括責任者] --> B[工事部長] B --> C[各工事担当] C --- D[処理計画作成担当] </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	排 出 量	1,978 t	556 t
	別紙のとおり (これまでに実施した取組) 自社で運搬できる種類については極力自社運搬に努める。 発生材は再生資源化施設へ搬出。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	排 出 量	1,800 t	500 t
	(今後実施する予定の取組) 自社で運搬できる種類については極力自社運搬に努める。 マニフェストの数量管理。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト・コンクリートがら及びコンクリートがら：積み込み時に分別を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト・コンクリートがら及びコンクリートがら：積み込み時に分別を行う。 社員への教育。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

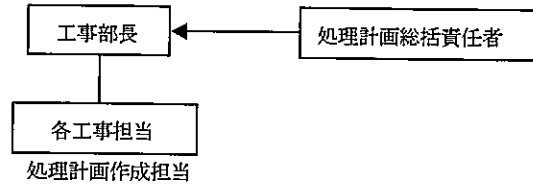
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き埋立て処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	全処理委託量	1,978 t	556 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,978 t	556 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社で運搬できる種類については極力自社運搬に努める。 発生材は再生資源化施設へ搬出。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	全処理委託量	1,800 t	500 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1,800 t	500 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自社で運搬できる種類については極力自社運搬に努める。 マニフェストの数量管理。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排 出 量	2,245 t	0 t
	別紙のとおり (これまでに実施した取組) 自社で運搬できる種類については極力自社運搬に努める。 再資源化施設へ搬出。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排 出 量	1,500 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自社で運搬できる種類については極力自社運搬に努める。 マニフェストの数量管理。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき 汚泥：自社運搬に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき 汚泥：社員の教育。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 特になし。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 特になし。			

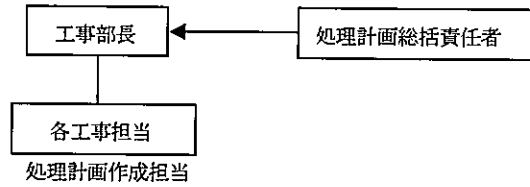
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き埋立て処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	2,245 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2,245 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社運搬に努める。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	1,500 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1,500 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 社員への教育。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	排 出 量	4 t	0 t
	別紙のとおり (これまでに実施した取組) 梱包材などリサイクル可能なダンボール等はリサイクル施設にて処分。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	排 出 量	3 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自社で運搬できる種類については極力自社運搬に努める。 マニフェストの数量管理。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃アルカリ・廃プラ：自社運搬に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃アルカリ・廃プラ：社員への教育

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

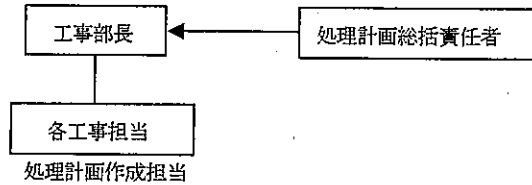
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き埋立て処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	全処理委託量	4 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	4 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社運搬に努める。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラ
	全処理委託量	3 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	3 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 社員への教育。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	排 出 量	7 t	30 t
	別紙のとおり (これまでに実施した取組) 梱包材などリサイクル可能なダンボール等はリサイクル施設にて処分。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	排 出 量	5 t	20 t
	(今後実施する予定の取組) 梱包材などはリサイクル施設へ搬出。 マニフェストの数量管理。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物：自社運搬に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物：社員への教育

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 特になし。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 特になし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き埋立て処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	全処理委託量	7 t	30 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	7 t	30 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 梱包材などはリサイクル施設へ搬出。 自社運搬に努める。 再資源化施設へ搬出。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物
	全処理委託量	5 t	20 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	5 t	20 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自社運搬に努める。 マニフェストの数量管理。		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

年 月 日

船橋市長 殿



提出者

住所 船橋市夏見5-23-13
 氏名 株式会社 斉藤総業
 代表取締役 斉藤 一昭

電話番号 047-423-4396

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

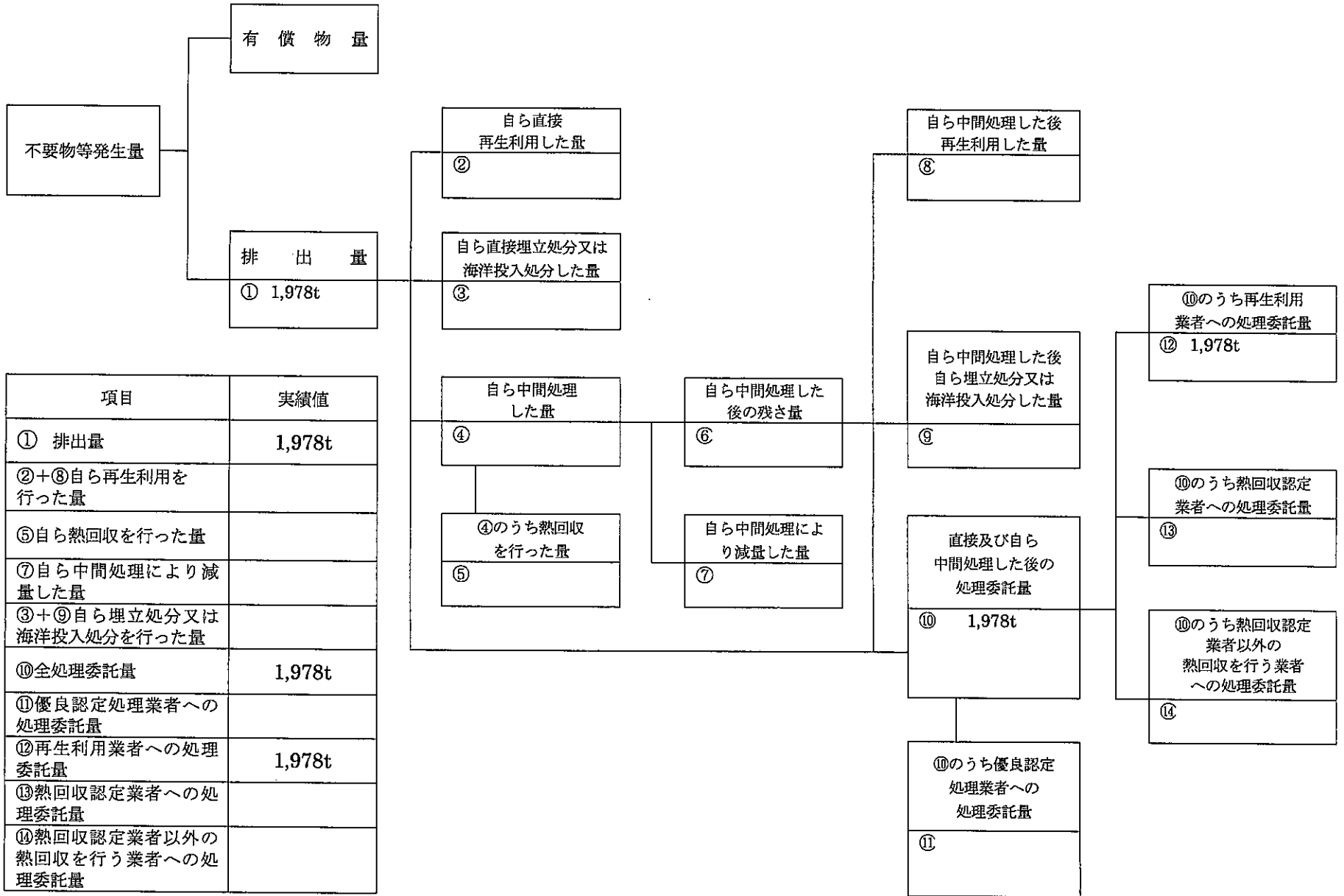
事業場の名称	株式会社 斉藤総業
事業場の所在地	船橋市市内 管轄区域内
事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：土木工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,342 t	全処理委託量	2,342 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,342 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況

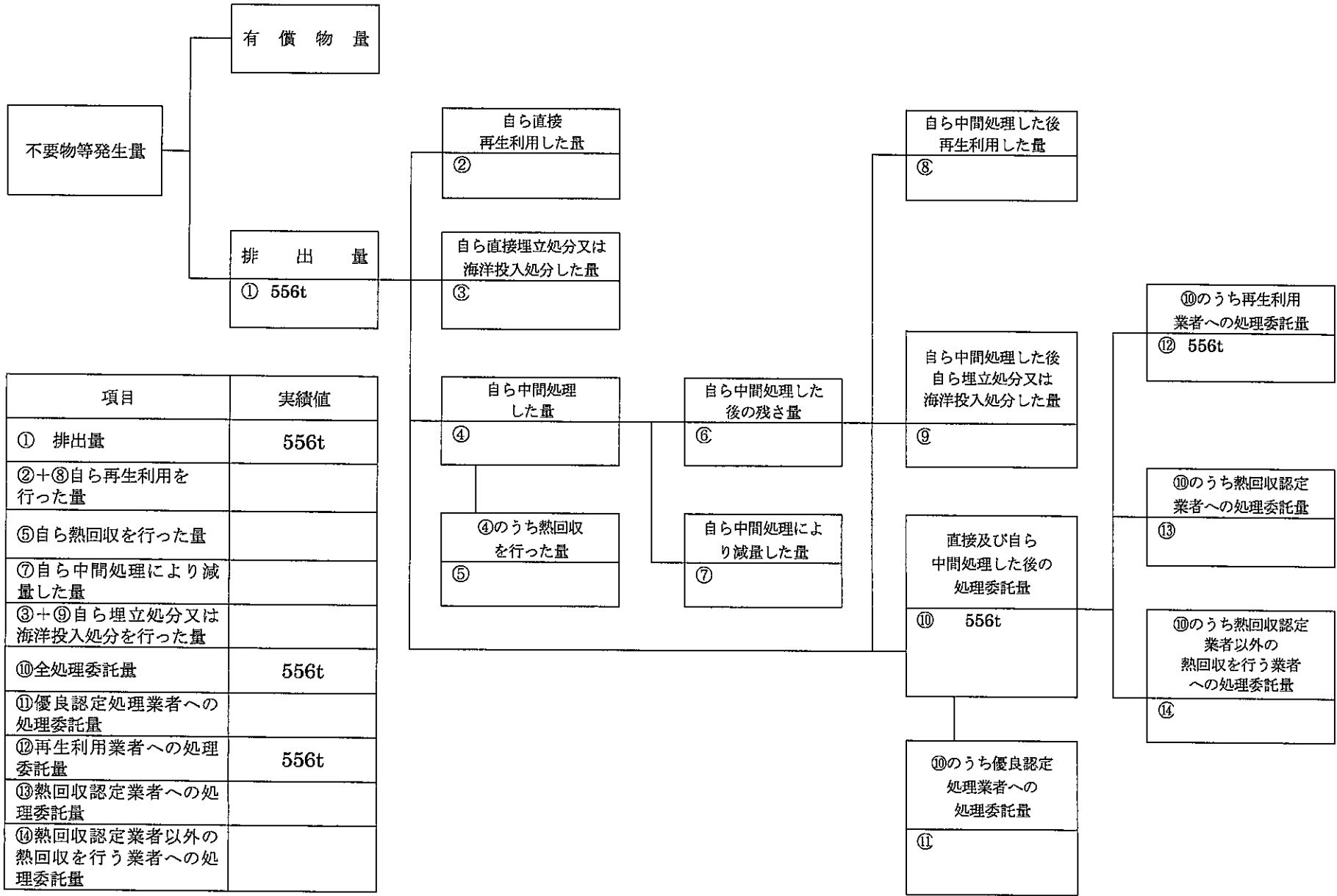
(産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら)



項目	実績値
① 排出量	1,978t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1,978t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用者への処理委託量	1,978t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンクリートがら)

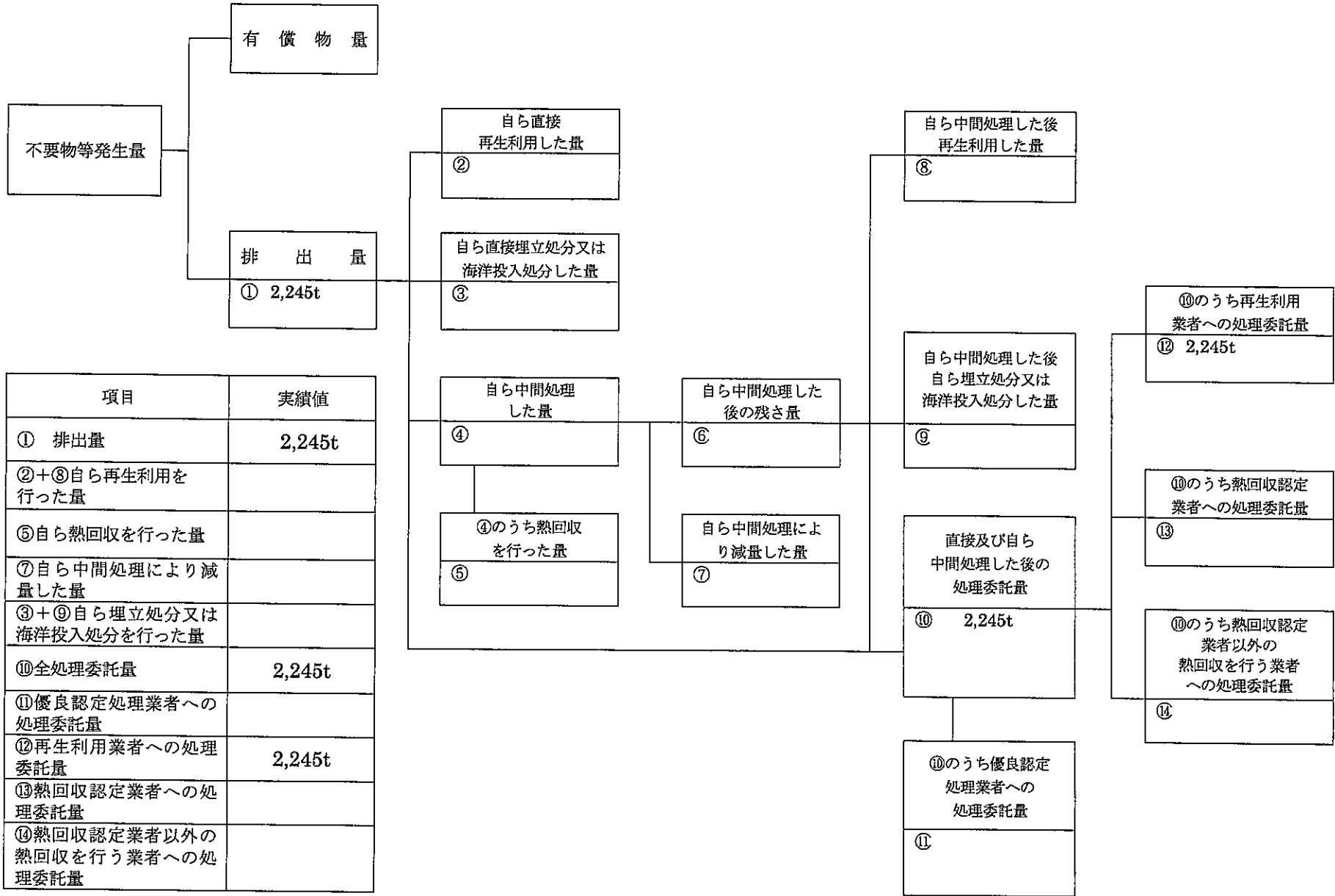


項目	実績値
① 排出量	556t
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	556t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用者への処理委託量	556t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき)

)

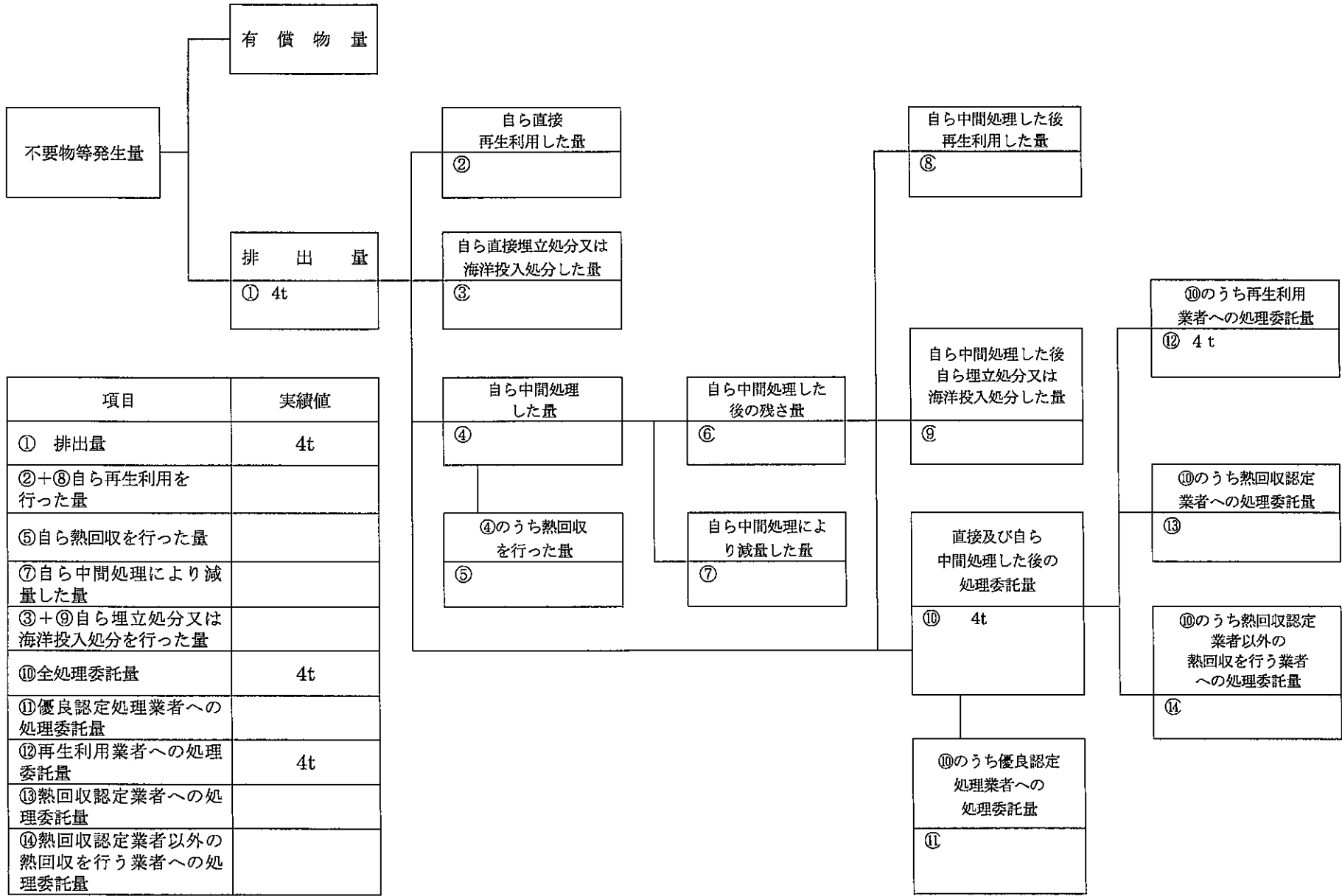


項目	実績値
① 排出量	2,245t
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	2,245t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用者への処理委託量	2,245t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)

)

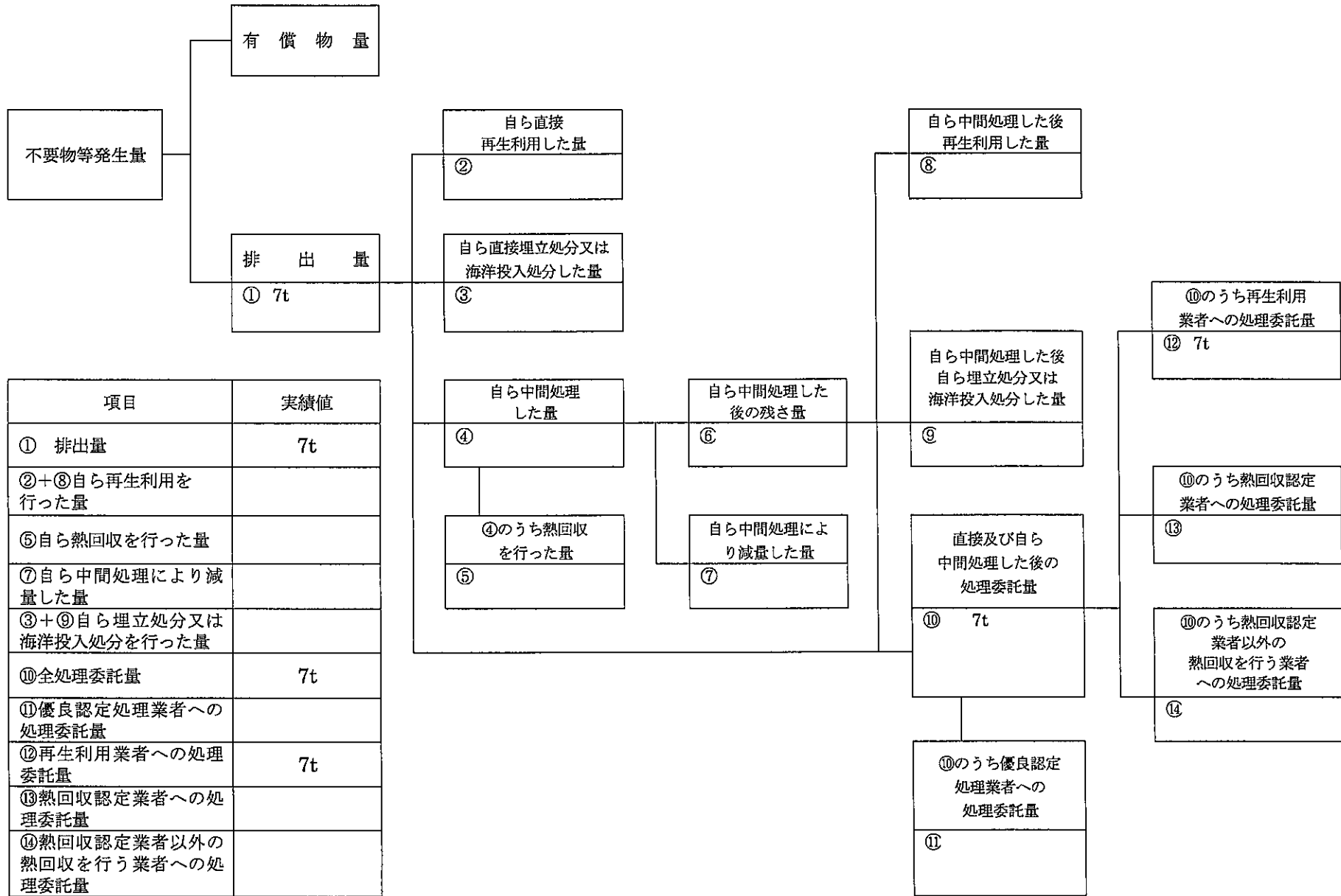


項目	実績値
① 排出量	4t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	4t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	4t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

)

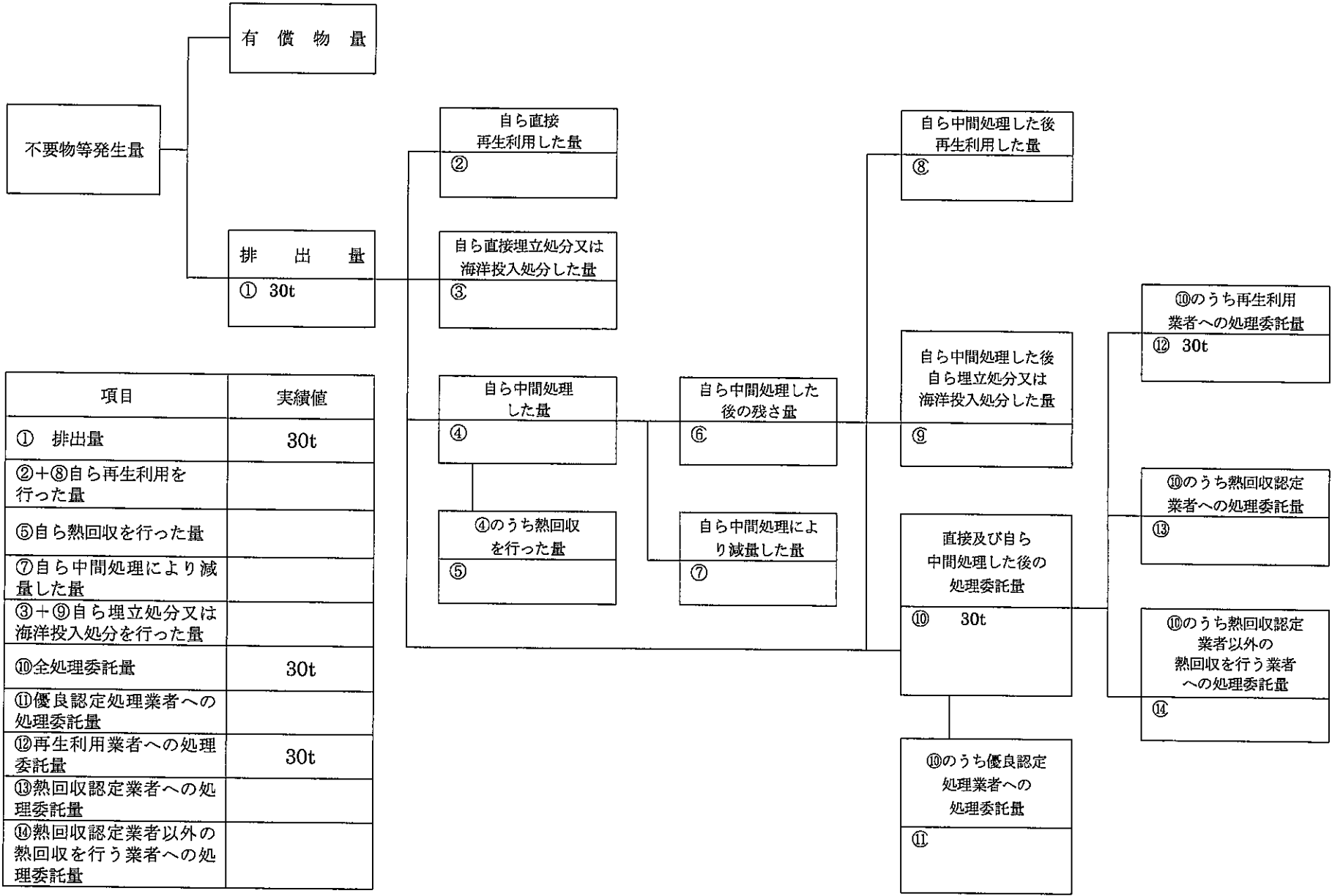


項目	実績値
① 排出量	7t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	7t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用者への処理委託量	7t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物)

)



項目	実績値
① 排出量	30t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	30t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	30t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。